

第2回久米島ビジョンラボ結～島ぬ3時茶あ会議～まとめ

■開催日程__令和6年12月26日9:30～11:30

■参加者__11名（グループ①4名、グループ②4名、グループ③3名）

■第2回ワーキングの狙い

- 地域のらしさの捉え方・活かし方を学ぶ。
- 久米島らしさを共有し、久米島のあるべき姿を考える。
- 久米島らしさを活かす・伸ばすための方策を考える。

■インプット

特別講話:「らしさ」を活かす地域づくり ～地域らしさ × 総合計画～

京都府立大学准教授 上杉和央

- 「地域らしさ」の方法や捉え方や見方について、参考事例を交えて講話頂いた。
- 地域らしさを再認識して、総合計画や地域計画への活かし方を学んだ。
- 島内の仲地地域を事例に、棚田のある景観や集落形成について意見交換した。



■久米島らしさの「捉え方」に関する考察

- コミュニティ・人の視点では、コミュニティの近さや共助の関係性が強いことが、良くも悪くも島人の性格・特徴として捉えられた。おじーおばーが元気で、働き者の女性が多いという意見も特徴的であった。
- 歴史・文化の視点では、多様な地域行事・伝統行事、様々な地域資源（文化財含む）が多くあることが島の誇りであることが伺えた。特に久米島紬は島を代表する伝統工芸品であるとともに、自然・水に関連する文様（図柄）が久米島らしさを特徴づけている。
- 自然環境の視点では、豊かな自然は久米島らしさであり、クメジマボタルやキクザトサワヘビなどの固有種が久米島ならではの意見があった。島の生活や生業（紬）は、豊かな自然や水に享受され成り立ち、現在の暮らし・産業も恩恵を受けている。
- 産業の視点では、赤どり、車えび、泡盛など飲食に関連するものが多く上げられた。また、未開発の食材や地域の家庭料理もあり、地域の風土から生まれた食材や料理が多様にあることを参加者で共有した。
- その他、景観や交通、島づくりに関する多様な意見がある中、現在の暮らしや環境が、「落ち着く島」、「丁度よい島」として、久米島らしさを捉えている。

グループ①

【しまづくりの方向性】久米島らしさで「自分たちが楽しむ」島づくり

久米島らしさ（★は特に重要なこと・もの）

分類	久米島らしさ	
くらし・生活	● どこに行っても知り合いに会う ● 雨の日に行く所がない（観光） ● 休日に行く場所がない ● 医療機関が少ない ● 大型のドラッグストアがある ● 24時間営業はコンビニのみ	● 渋滞が少ない ● 交通機関が少ない ● 時間が長く感じる ● 那覇から近い ● 畑しごと・足腰つよい身体（中体連優勝の要）
地域・人	● 人と人の距離が近い ● ゆいまーる ● 歩かない ● 物を買わない ● 普通の格好で歩くと不思議に思われる。声をかけられる ● 地域のおじい・おばあ ● 車より人が強い ● 【言葉】しにうむさん（とても面白い）	● 笑わせたがり、目立ちたがりの人が多い ● 知らない人に怒られる ● ★とりあえず、自分たちが楽しむ ● ご近所から野菜、バナナをもらう ● 本島より寒く感じる ● 性格控えめ
交わること	● パークゴルフ→職場のイベントでやる、身近ではない ● おじーおばーのところへお菓子をもらいに行った	● ゲートボールはドーム一か所で行っている。（各地域で行っている人少ない）
行事・イベント	● 運動会が祭り ● ★町民運動会 ● 旧十六日・中身汁 ● 釣り大会（学校行事） ● ★久米島まつり（ちょうどよい規模、回りやすい食べ飲み）	● ★沖縄角力 ● ★エイサー ● 字の規律 先輩の姿・負けず嫌い ● 比屋定は行事ない、儀間は行事なんでも強い
食	● チーイリチャー（豚肉の血炒め）、真謝のチーイリチャーは汁	● ヒージャー汁（ヤギの血、サクナ入り） ● サクナは海岸沿いで採取

【しまづくりの方向性】久米島らしさを「変えない」島づくり

久米島らしさ（★は特に重要なこと・もの）

分類	久米島らしさ	
生活・ 暮らし	【食べ物】 ● 赤どり、車えび、酒がウマイ ● マグロの刺身が最高にうまい ● ヒージャーにサクナ（長命草） 【交通】 ● 自動車が車道の真ん中を走っていることがある（交通量少なめ） ● 橋が多い（水路の橋） ● 畑への移動の道が多い ● 移動はほぼ車（歩かない） ● 飛行機をタクシーのような感覚で使う 【暮らし】 ● 暮らすためのものが揃う島 ● お金を使わない島 ● 都会すぎず、田舎すぎず、丁度よい島 ● 居酒屋にいる時間が長い	【行事】 ● ★地域行事に熱心 ● ★角力、ハーリー、草刈り ● ★行事後の公民館 ● ★行事が多い ● ★全部役場主体 ● 運動系の行事に本気すぎる 【コミュニティ】 ● ホームレスの方がいない？ ● 地域のつながり ● ★帰ってくると落ち着く ● 先輩たちが可愛がってくれる 【移住】 ● Uターン ● 移住の島 ● 硫黄島島民 120 年前に久米島へ移住
産業・生業	【たべる】 ● ヤギを飼っている人たくさん ● 昔はみそが有名だった	【つくる】 ● 紬、泡盛、地ビール ● 特産品と言えるものが多い ● 一つ一つの畑の面積が小さい
自然・環境	● ★自然が豊かな島 ● 銭田では金がとれる ● 海の青さにびっくり ● 固有種が多いらしい ● 海と山、近いからこそどちらも味わえる	● 空気がキレイ ● 水が豊か ● クメジマボタル ● 登武那覇からの景色 ● 学校から見えたクジラ ● 白鳥クミちゃん(文化センター)
共通 するもの	● 過去 2 回雪が降った ● 人と人（関係）が近い島 ● 発展しすぎないでほしい ● 情報がすぐ広まる・ばれる	● ★時間が止まっているような島 ● 地域の方言がある ● 仕事→地域の人との関りが特に多い

【しまづくりの方向性】久米島らしさで「豊かな水推し」島づくり

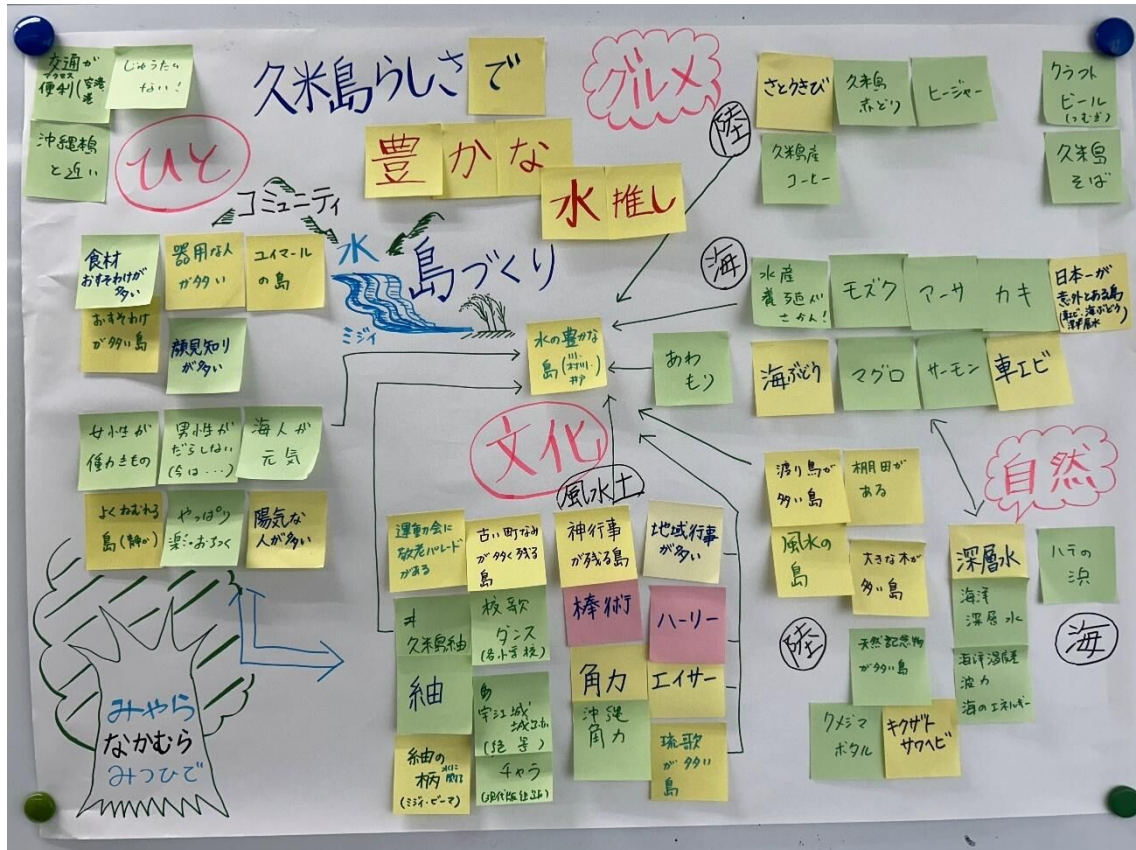
久米島らしさ（★は特に重要なこと・もの）

分類	久米島らしさ	
ひと	● 食材おすそわけ多い ● 器用な人が多い ● 顔見知りが多い ● ユイマールの島 ● 女性が働きもの	● 男性がだらしない？ ● 海人が元気 ● よく眠れる島（静か） ● やっぱり楽・おちつく ● 陽気な人が多い
文化 （風水土）	● 運動会に敬老パレードがある ● 古い町並みが多く残る島 ● 神行事が残る島 ● 地域行事多い ● 久米島紬、柄（ミジィ、ビーマ） ● 校歌ダンス（各小学校）	● 棒術、ハーリー、沖縄角力、エイサー ● 宇江城城跡（絶景） ● ワカチャラ（現代版組踊） ● 琉歌が多い島
自然	【陸】 ● 渡り鳥が多い島 ● 棚田がある ● 風水の島 ● 大きな木が多い島 ● 天然記念物が多い島 ● クメジマボタル ● キクザトサワヘビ	【海】 ● 海洋深層水 ● 海洋温度差発電等（波力、海のエネルギー） ● ハテの浜
グルメ	【陸】 ● さとうきび ● 久米島赤どり、ヒージャー ● 久米島コーヒー ● クラフトビール、久米島そば ● 泡盛	● 水産養殖が盛ん ● モズク、アーサ、カキ、海ぶどう、マグロ、サーモン、車えび ● 日本一が意外とある島（車エビ、海ぶどう、海洋深層水）



全てが豊かな水を享受、または関連

水の豊かな島（川・集落の水路・井戸）



■集合写真

